

# 慶應大阪シティキャンパス(KOCC) 夕学サテライト講座 〈 2018 年度後期 〉 受信スケジュール

KOCC「夕学サテライト講座」は、東京丸の内シティキャンパス（慶應 MCC）で行う定例講演会「夕学五十講」のうちの一部講演を、インターネット回線を通じてライブ中継により、リアルタイムで受講するものです。  
2018/9/3（月）12:00より申込受付開始（Web / Fax）

時 間：18:30～20:30（開場 18:00） 会 場：慶應大阪シティキャンパス（KOCC）

（10/9, 10/30, 12/4 は、グランフロント大阪 北館7階 C 8 階 カンファレンスルーム C05、 11/6 は同 8 階 C01）

定 員：90 名（10/9, 10/30, 11/6, 12/4 4 講演の定員は 50 名）

講座料：全 13 講演一括申込 17,000 円、 個別申込 1 講演@1,500 円\*

※個別申込は、一度のお申込枚数 5 枚につき 500 円割引制度有。

\* 下記は 2018/8/22 現在調整中の予定です。事情により講演者・日程等が変更となる場合がありますことをご承ください。

1. 講演スケジュール（全 13 講演）		開催日・講師名・タイトル	主催：慶應学術事業会
① 10/9 佐々木 紀彦 メディアの未来と NewsPicks の未来 ※開催会場が異なります。〈定員 50 名〉	⑥ 11/6 池上 高志 人工生命研究からみる未来のかたち ※開催会場が異なります。〈定員 50 名〉	⑪ 1/11 藤原 和博 戦略的「モードチェンジ」のすすめ	
② 10/18 穂村 弘 世界と〈私〉の関係を言葉にする	⑦ 11/22 前田 裕二 SHOWROOM が創る共感経済圏	⑫ 1/17 小林 慶一郎 財政危機と日本経済 ～将来世代の利益をどう守るか～	
③ 10/19 藤田 紘一郎 腸内細菌とともに生きる～腸内細菌を大切にすると心身体も元気になる～	⑧ 11/28 安田 秀一 スポーツを通じて豊かな社会を	⑬ 1/29 相澤 孝夫 相澤病院の経営改革	
④ 10/30 大山 晃弘/清水 勝彦 ユーザー経営とジャパソソリューション ※開催会場が異なります。〈定員 50 名〉	⑨ 12/4 藤平 信一 持っている力を最大限に発揮する ※開催会場が異なります。〈定員 50 名〉		
⑤ 10/31 出口 治明 これからの『学び』	⑩ 12/12 千 宗屋 茶の湯のかたちに見る、日本の美と心		

## 2. 講師&講演紹介

日付の右横〈 >内は 2018 年度後期夕学講座の講座テーマです。

① 10月9日（火） 〈社会の進化と深化〉 [定員:50名]、[会場:GF0北館7階 C 8 階 カンファレンスルーム C05]

佐々木 紀彦（ささき のりひこ） 株式会社ニュースピックス 取締役 COO、NewsPicks Studios CEO

「メディアの未来と NewsPicks の未来」

福澤諭吉の真の偉大さは、慶應義塾（教育）と時事新報（メディア）、交詢社（コミュニティ）の 3 つの価値を組み合わせ新しい時代精神を創ったところにあります。NewsPicks も、経済メディアとして、メディア、教育、コミュニティを手掛け、新しい経済圏を創っていかうと思っています。本講演では、NewsPicks のビジョンと戦略についてお話しします。

福岡県生まれ。慶應義塾大学総合政策学部卒業後、東洋経済新報社に入社。2007 年 9 月より休職し、スタンフォード大学大学院で修士号取得（国際政治経済専攻）。2009 年 7 月に復職後、『週刊東洋経済』編集部を経て、2012 年 11 月より「東洋経済オンライン」編集長を務め、リニューアルから 4 か月で 5301 万 PV を記録。2014 年に経済ニュース共有アプリとして人気を誇る『NewsPicks』へ移籍し、編集長 執行役員に就任。2018 年 4 月 1 日には編集長から退き、海外のメディア・コンテンツ企業では定着しつつあるポストの最高コンテンツ責任者（COO: チーフ・コンテンツ・オフィサー）となる。

② 10月18日(木) <この人に聞く>

穂村 弘(ほむら ひろし) 歌人

「世界とく私」の関係を言葉にする」

- ・ほんとうはあなたは無呼吸症候群おしえないまま隣でねむる(鈴木美紀子)
- ・「奥さんは元気」とふっと聞く妻をお前さんだときつく抱きしむ(渡辺光男)

日記にも写真にもツイッターにも残せない「生の時間」、その怖さや美しさを短歌を通して考えてみたいと思います。

1962年北海道生まれ。1985年より短歌の創作を始め、歌集『シンジケート』でデビュー後、長らくサラリーマン生活との二足のわらじで創作活動を続ける。独特な表現と語り口調で多くの人を魅了し、現在は、短歌だけではなくエッセイや評論、絵本などでも高い評価を得ている。2008年から日本経済新聞「歌壇」の選者の一人を務める。穂村さんの視点は、効率や成果を求められる現代人が見過ごしてきたものにスポットを当て、私たちの世界を広げてくれる。

③ 10月19日(金) <こころとからだの幸福論>

藤田 紘一郎(ふじた こういちろう) 東京医科歯科大学名誉教授

「腸内細菌とともに生きる～腸内細菌を大切にすると心身体も元気になる～」

がんやアレルギー、こころの病気が、なぜ最近になってこんなに増えてきたのでしょうか。それは日本人の免疫力が低下してきたことと無関係ではありません。低下してきた免疫力を高める鍵は腸内細菌がにぎっています。この講演では、腸内環境を健康に保つにはどうすればよいか、どんな習慣が腸をダメにするのか、腸を鍛える食べ物などについてお話しします。

1939年中国東北部(旧満州)生まれ、三重県育ち。1965年東京医科歯科大学医学部を卒業後、東京大学大学院で寄生虫学を専攻。テキサス大学で研究をした後、金沢医科大学教授、長崎大学医学部教授、東京医科歯科大学大学院教授、人間総合科学大学教授を歴任。日米医学協会のメンバーとして、マラリア、フィラリアなどの免疫研究の傍ら、「寄生虫体内のアレルゲンの発見」「ATLウイルスの伝染経路の解明」など多くの業績をあげる。また、研究の一環として自らの体内(腸内)で15年間、サナダムシ「きよみちゃん」を共生させていたことが広く知られている。

④ 10月30日(火) <戦略と技術が拓く近未来> [定員:50名]、[会場:GFO北館7-C 8階 カンファレンスルームC05]

大山 晃弘(おおやま あきひろ) アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役社長

清水 勝彦(しみず かつひこ) 慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授

「ユーザーイン経営とジャパンソリューション」

※本講演は大山氏の講演60分・対談30分・質疑応答30分の構成を予定しています。

アイリスオーヤマがプラスチック下請けメーカーから家電メーカーに成長拡大してきた過程を、企業コンセプトである「ユーザーイン」を切り口に説明いたします。商品開発から物流・営業・社内コミュニケーションを含め、どのようにイノベーションを起こしてきたのかについてお話しさせていただきます。

【大山 晃弘】1978年宮城県仙台市生まれ。2003年3月、アイリスオーヤマ株式会社入社。同年11月、IRIS USA INC入社。実父である大山健太郎前社長の元、後継者として、海外の工場建設やネット通販企業との折衝を指揮した。米国や欧州の子会社では「チェアマン」の肩書で指導的な役割を担う。2018年7月、創業60年の節目に、アイリスオーヤマ株式会社代表取締役社長に就任。今後、海外事業など国際展開を本格化させる。

【清水 勝彦】1986年東京大学法学部卒業、1986～1996年株式会社コーポレートディレクション(CDI)戦略コンサルタント。同社プリンシパルを経て、研究者となり、渡米。1994年ダートマス大学エイモス・タックススクール経営学修士(MBA)、2000年テキサス大学A&M大学経営学博士(Ph.D)を取得。その後、テキサス大学サンアントニオ校准教授となる(テニュア取得)。企業のM&Aの失敗を主な題材に、組織の戦略変更や組織学習の研究を行い、2010年4月より現職。2012年より仏エクス・マルセイユ大学経営大学院でも教鞭をとる。専門は、組織変革、戦略実行、M&A。分かりやすいと評価の高い経営書の執筆や新聞への寄稿から学会のトップジャーナルの英語論文発表まで幅広く活躍している。

⑤ 10月31日(水) <日本と世界の論点>

出口 治明(でぐち はるあき) 立命館アジア太平洋大学(APU) 学長

「これからの『学び』」

ライフネット生命の創業者である出口氏が、立命館アジア太平洋大学の学長に就任しました。世界中の国・地域から約3,000人の国際学生が集うスーパーグローバル大学のトップとして、これからの「学び」をどう考えていくのか、大学のビジョンとご自身の体験を織り交ぜながら語っていただきたいと思います。(事務局筆)

1948年三重県生まれ。京都大学法学部(専攻:憲法)卒業後、1972年日本生命保険相互会社に入社。ロンドン現地法人社長、国際業務部長等を歴任。2008年にインターネットだけの保険販売、ライフネット生命保険株式会社を開業。業界ではタブーとされていた原価の公開に踏み切った。2017年に同社代表取締役会長を退任し、2018年1月立命館アジア太平洋大学学長に就任。69歳にして実業界から教育界へ異例の転身を遂げた。

⑥ 11月6日(火) <戦略と技術が拓く近未来> [定員:50名]、[会場:GFO北館7階-C 8階 カンファレンスルームC01]

池上 高志(いけがみ たかし) 東京大学大学院総合文化研究科・広域科学専攻 教授

「人工生命研究からみる未来のかたち」

機械が生命性を獲得するのはいつか。機械が生命性を獲得することで、生命の進化は新たな局面を迎えるのか。一見、抽象的でSF的にみえるこの問題に、アンドロイドやコンピュータの実験を用いて具体的に迫る時代がやってきました。今回はここ10年の研究でたどり着いた現在の生命の新しい形、それがもたらす未来のかたちについて議論したいと思います。

1961年長野県生まれ。1984年東京大学理学部物理学卒業。1989年同学大学院理学系研究科博士課程修了。京都大学、神戸大学等を経て、1994年東京大学大学院助教授、2008年より現職。人工生命(ALife:Artificial Life)に新たな境地を切り拓き、研究を世界的に牽引しながら、メディアアーティストとしても知られる。『人間と機械のあいだ』(講談社,2016)、『作って動かすALife』(オライリージャパン,2018)等、著書も多数。

⑦ 11月22日(木) <戦略と技術が拓く近未来>

前田 裕二(まえだ ゆうじ) SHOWROOM株式会社 代表取締役社長

「SHOWROOMが創る共感経済圏」

Denaからのスピンオフベンチャーとして、仮想ライブ空間「SHOWROOM」を立ち上げた前田氏は、いまをときめく話題の起業家です。夢に向かって頑張る人に「共感」し、陰ながら「応援」したい、という日本人の奥ゆかしい特徴を経済システムに連動させたビジネスコンセプト&モデルは、新しい経済の先駆者かもしれません。刺激的なお話を伺えると期待しています。(事務局筆)

1987年東京生まれ。2010年に早稲田大学政治経済学部を卒業後、UBS証券会社に入社。2011年からUBS Securities LLCに移り、ニューヨークで北米機関投資家に対して株式セールス/アドバイザー業務に従事した。その後起業を検討し、就職活動時に縁があった株式会社DeNAのファウンダー南場氏に事業立ち上げについて相談したことをきっかけに、2013年5月、(株)ディー・エヌ・エーに入社。同年11月に仮想ライブ空間「SHOWROOM」を立ち上げ、2015年8月に当該事業をスピンオフして、SHOWROOM株式会社を設立した。2017年6月には自身初の著書『人生の勝算』を出版し、Amazonベストセラー1位を獲得。

⑧ 11月28日(水) <社会の進化と深化>

安田 秀一(やすだ しゅういち) 株式会社ドーム 代表取締役CEO、法政大学アメリカンフットボール部 前総監督

「スポーツを通じて豊かな社会を」

大学でアメフト部主将として活躍した安田氏は、「日本のスポーツ環境を何とかしたい」という思いからドーム社を創業。「アンダーアーマー」の日本総代理店となりスポーツビジネスの革新者となりました。また今春まで、母校法政大アメフト部の監督(後に総監督)として同部の改革を指揮しました。スポーツビジネスのこれから、及び大学スポーツ改革論を語っていただければと思います。(事務局筆)

1969年東京都生まれ。法政大学文学部日本文学科を卒業。同大学アメリカンフットボール部並びに学生全日本選抜で主将を務める。1992年三菱商事に入社。1996年に大学時代のアメリカンフットボール部の仲間と株式会社ドームを創業し、1998年に米国スポーツメーカー「アンダーアーマー」と日本の総代理店契約を結ぶ。大学スポーツの産業化と選手の環境改善にも積極的に取り組み、2016年から2018年春まで法政大アメフト部の監督(後に総監督)として同部の改革を指揮した。筑波大学の客員教授として同大の運動部改革にも携わる。大学スポーツの産業化と選手の環境改善にも積極的に取り組んでいる。

⑨ 12月4日(火) <こころとからだの幸福論> [定員:50名]、[会場:GFO北館7階-C 8階 カンファレンスルームC05]

藤平 信一(とうへい しんいち) 心身統一合気道会 会長、慶應義塾大学体育會合気道部師範・特選塾員

「持っている力を最大限に発揮する」

心身統一合気道の根幹である「自然な姿勢」「自然な呼吸」は、人間が持っている力を発揮することに役立ちます。その効果を理解いただき、ビジネスパーソンをはじめ、アスリートやアーティストなど、様々な分野の第一線で活躍する人々が学んでいます。講演では、可能な限り実際に参加者の皆さんに体験いただき、その日から活かせるようにお伝えしたいと思います。

1973年生まれ。東京工業大学生命理工学部卒業。実父である合気道十段の藤平光一宗主によって創始された武道、心身統一合気道を幼少から学び、後継者となるべく指導を受ける。2007年に心身統一合気道の総てを継承。現在、国内外で心身統一合気道を指導・普及に努め、慶應義塾大学では体育會合気道部の師範だけではなく、非常勤講師として一般教養の授業も担当。また、合気道人材育成に活用し、経営者・リーダー・アスリート・アーティストなどを対象とした講習会、企業研修も積極的に行っている。

⑩ 12月12日(水) <この人に聞く>

千 宗屋(せん そうおく) 武者小路千家家元後嗣

「茶の湯のかたちに見る、日本の美と心」

茶の湯には、日本人としてのものの見方や考え方、感性や美があります。具体的な形・方法と抽象的な感性で凝縮された古きよき文化、習慣、思想があります。そして現代に受け継がれてきたもの、時代に合わせて変化してきたものがあります。500年の歴史や系譜を踏まえながら、茶の湯の本質を現代の文脈で引き寄せ、現代にも生きる茶の湯の心や伝統の本質について考えてみたいと思います。

1975年京都府生まれ。1996年慶應義塾大学環境情報学部卒業、同大学大学院前期博士課程修了(中世日本絵画史)。2003年に茶道三千家の一つ、武者小路千家十五代次期家元として後嗣号「宗屋」を襲名。現代アートの芸術家や建築家など他分野とのコラボレーションに精力的に取り組む一方、2008年には文化庁文化交流使としてアメリカで活動した。明治学院大学非常勤講師、慶應義塾大学総合政策学部特任准教授、同志社大学特別講師を歴任。

⑪ 1月11日(金) <社会の進化と深化>

藤原 和博(ふじはら かずひろ) 教育改革実践家

「戦略的「モードチェンジ」のすすめ」

リクルートでのスーパービジネスマン生活から転じ、東京都初の民間中学校長や奈良市一条高校校長として様々な改革を断行した経験をもとに人生の戦略的モードチェンジの方法を教えます。「情報編集力」の向上が鍵になるのですが、ホリエモンやキンコン西野亮廣氏大絶賛の「キャリアの大三角形を作って100万分の1の希少性ある存在になろう!」を具体的に学んでいただきます。

1955年生まれ。1978年東京大学経済学部卒業後リクルート入社。東京営業統括部長、新規事業担当部長などを歴任後、ヨーロッパ駐在を経て、1996年同社フェローとなる。2003年、「たった一人からの教育改革」を旗印に、リクルート出身の民間人校長として、公立中学校の改革に取り組んだ。また同校に開設した「よのなか科」は開設後20年間継続中で、文科省が進めるアクティブラーニングの手本となっている。また同科をモデルとした学校支援地域本部(現・地域学校協働本部)は全国一万カ所に広がっている。その他、橋本大阪府前知事の教育政策特別顧問、佐賀県武雄市の教育改革特別顧問、奈良市立一条高校校長を歴任。講演1300回を超える超人気講師で、企業の幹部研修も請け負う。

⑫ 1月17日(木) <日本と世界の論点>

小林 慶一郎(こばやし けいいちろう) 慶應義塾大学経済学部 教授

「財政危機と日本経済～将来世代の利益をどう守るか～」

日本の財政問題を考えることで、将来世代の利益を我々の世代の問題としてとらえることの難しさと危機感を感じてもらうことを講演のねらいとします。財政など国家レベルの問題だけでなく、企業や私たちの日々の意思決定においても将来世代の視点を導入することは大きな課題です。その手法として、現在、研究が進展しつつあるフューチャー・デザインの考え方を解説します。

1966年生まれ。1991年に東京大学大学院工学系研究科修士課程修了(数理工学専攻)、通商産業省入省(産業政策局)。景気対策の企画立案に参加し、日本の不況が長期化していく状況を目の当たりにしたことをきっかけに、不良債権問題やマクロ経済学に関心を持つ。シカゴ大学大学院経済学研究科博士課程修了(経済学)。2003年1月より2007年6月まで朝日新聞客員論説委員を務め、その後、経済産業研究所上席研究員、一橋大学経済研究所世代間問題研究機構教授を歴任。2013年4月より現職。

⑬ 1月29日(火) <人を活かす組織>

相澤 孝夫(あいざわ たかお) 社会医療法人財団 慈泉会 理事長、相澤病院 最高経営責任者

「相澤病院の経営改革」

病院経営の中軸は高度の専門性を有する医療にあり、高い専門性を有する人材が経営の基盤です。しかし一方で、マネジメント力が専門力より軽視され、職種間・部署間・部門間の協働や連携が希薄となり、組織として一体感を持った行動がとれない問題もあります。本講演では、この難しい病院マネジメントを相澤病院はどう考え、どう行ってきたのかをお話しします。

1947年長野県松本市生まれ。1973年東京慈恵会医科大学卒業。信州大学医学部附属病院勤務(内科学第二講座)を経て、1981年に相澤病院 副院長就任。1994年より2017年まで、相澤病院 理事長・院長を務め、かつては6年連続の赤字に苦しむ地方病院の経営改革を見事に成功させた。相澤病院は、2013年2月に甲信越地方初、国内の病院では6番目となる国際的な医療機能評価機関JCI(Joint Commission International)の認証を取得。2018平昌五輪では、スピードスケート女子で日本において初めての金メダルを獲得した小平奈緒選手がスタッフとして所属、支援を受けている病院として注目を集めた。